

加東市の祭り



ちょうこうじ ほんどう こくほう
朝光寺 本堂(国宝)



とうりゅうなだ
闘竜灘

県指定無形民俗文化財

あきつすみよしじんじゃ ひやくこくおどり 秋津住吉神社 百石踊



秋津百石踊り

え ど じだい いぜん ひで とき おこな あまご
江戸時代以前より日照り※1がおこった時に行われた雨乞
しんじ げんざい さいど ちく ひとびと つた
い神事※2で、現在では西戸地区の人々によって伝えられて
まいとし がつ にち あきつ すみよしじんじゃ おど
いて、毎年4月29日に秋津住吉神社にて踊られます。

おど どおこな ひやくこくぶん けいひ ひつよう ひやくこくおど
注:この踊りを一度行うのに、百石分の経費を必要とすることから「百石踊り」と
い
言われているそうです。

ひで は ひ つづ あめ ふ
※1 日照り:晴れの日が続き、雨が降らないこと

あまご しんじ かみさま あめ ふ いの あめ ふ こと かんしゃ ぎしき
※2 雨乞い神事:神様に雨が降るように祈り、雨が降った事に感謝する儀式

いつ : 4月29日
どこで : 加東市秋津1113



はな あゆ
花まつり・鮎まつり



闘竜灘



光明寺花まつり



鮎まつり会場

しゃかさま たんじょう いわ ぎしき こうみょうじ
お釈迦様※1の誕生をお祝いする儀式である光明寺の
はな たきの ちいき とうりゅうなだしゅうへん がつしたち あゆりょう
花まつりと、滝野地域の闘竜灘周辺で5月1日に鮎漁が
はじ かわびら いわ まつ どうじ かいさい
始まる川開きを祝うお祭りが同時に開催されます。

はな きちょう ぶんかざい こうかい あゆ
花まつりでは貴重な文化財が公開され、鮎まつりでは
じもとしょうがくせい ちあゆ ほうりゅう おこな
地元小学生による稚鮎の放流などが行われます。

しゃかさま ねんまえごろ ほんぶ しゃかぞく おうじ う ぶつきょう ひと
※1 お釈迦様:2500年前頃にインド北部の釈迦族の王子として生まれ、仏教をはじめた人

いつ：5月3日
どこで：加東市光明寺433
闘竜灘



県指定重要無形民俗文化財

ちょうこうじ おにおいおどり
朝光寺 鬼追踊



鬼追踊

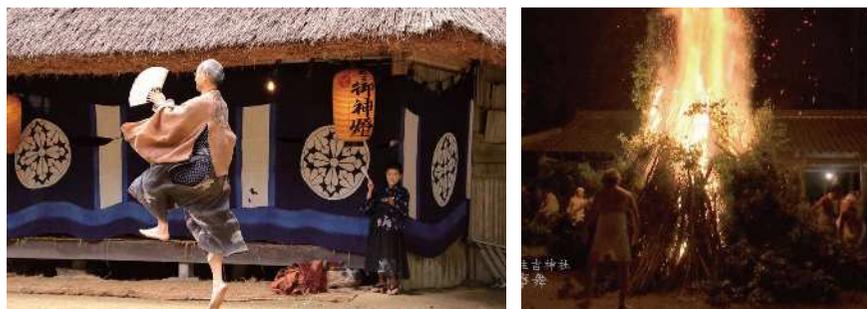
まいとし がついつか ごこく ほうじょう むびょう そくさい いの
毎年5月5日に五穀豊穰※1、無病息災※2などを祈つ
て、国宝である朝光寺本堂前で行われる踊りです。翁
やく ひとり おにやく にん ひ たいまつ おの かたな
役※3 1人と鬼役4人が、火のついた松明や斧・刀など
も ぶたい うえ ちからづよ と は おど むろまち じ
を持って、舞台の上で力強く飛び跳ねる踊りは、室町時
代※4前半が始まりと考えられています。

- ※1 ごこくほうじょうのうさくもつ ゆた みの
五穀豊穰:農作物が豊かに実ること
- ※2 むびょうそくさいひとびと けんこう あんぜん
無病息災:人々が健康で安全であること
- ※3 おきなやく おじいさんやく
翁役:おじいさん役
- ※4 むろまちじだい ひろく
室町時代:広くは1336年～1573年まで

いつ：5月5日
どこで：加東市畑609



かみかもがわすみよしじんじゃ しんじまい
上鴨川住吉神社 神事舞



(残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト入賞作品)

まいとし がつ だい ど にちようび かみかもがわ すみよしじんじゃ けいだい
毎年10月の第1土・日曜日に上鴨川住吉神社の境内
かまくら じだい ころ つづ げんかく もと おこな
で、鎌倉時代※1頃から続く厳格なしきたりに基づいて行わ
れる神事※2です。

どようび よなか おお ひ た まえ たいこ ふえ
土曜日は、夜中に大きな火を焚き、その前で太鼓や笛な
がつき おと あ めん かぶ ひとびと おど
どの楽器の音に合わせて面などを被った人々が踊ります。

にちようび にっちゅう よいみや おな おど おきな めん かぶ
日曜日は、日中に宵宮と同じ踊りとともに翁の面を被った
ひと おど
人が踊ります。

かまくらじだい ねん ねん
※1 鎌倉時代:1185年～1333年

しんじ かみさま かん
※2 神事:神様に関するまつりごと

いつ : 10月 第1土・日曜日
どこで : 加東市上鴨川571



さほじんじゃ あきまつ
佐保神社 秋祭り



上組

下組

新町

上中

きたはりま ゆうすう じんじゃ し さほじんじゃ
北播磨有数の神社として知られる佐保神社において、
まいとし がつ だい ど にちようび おこな あきまつ にちようび
毎年10月の第2土・日曜日に行われる秋祭りで、日曜日の
にっちゅう うじこ むら たいこ やたい じんじゃ けいだい
日中には氏子である4つの村の太鼓屋台が神社の境内
はい か ごえ おお ひとびと かつ かみさま
に入り、掛け声をあげる多くの人々に担がれて、神様にそ
とし ほうさく かんしゃ いわ
の年の豊作を感謝しお祝いします。

いつ : 10月 第2土・日曜日
どこで : 加東市社777

